

〈特集〉

キーワードは「断らない」

## 「地域共生社会」の実現のための 「包括的相談支援体制」づくりとは？

P08に  
登場！

近藤初世さん

明治創業の温泉旅館、富士見館の女将。宿泊、日帰り温泉のおもてなしだけでなく、「函南町のことを知ってもらいたい」と、ガイドブックには載っていない情報を日々収集。大正時代に生まれた健康体操「自彊術(じきょうじゆつ)」が日課。



編集発行／社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡市葵区駿府町1番70号 TEL.054-254-5248 FAX.054-251-7508 ✉ spcsw@shizuoka-wel.jp  
http://www.shizuoka-wel.jp 令和3年5月1日発行 1部50円 ※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

Facebook ▶



Instagram ▶





一般社団法人コミュニティネットハビネス  
代表理事 土屋幸巳さん

profile

土屋幸巳(ゆきみ)さん

2006年に富士宮市福祉総合相談課長(兼)地域包括支援センター長に就任。全国に先駆けてジャンルを問わないワンストップの相談支援体制と地域包括ケアシステムを構築し、富士宮市は全国モデル地域となった。2015年には、公益財団法人さわやか福祉財団に入団。戦略アドバイザーとして、生活支援体制整備事業の推進などで市町村の支援を行った。2017年、一般社団法人コミュニティネットハビネスを立ち上げ代表理事に就任。市町の福祉アドバイザーやソーシャルワークの基本であるアセスメント研修をはじめ、各種研修を実施している。認定社会福祉士。

では、包括的相談支援体制とは具体的にどのようなものなのでしょう。全国に先駆けて福祉総合相談支援体制を構築し、本事業の中で各市町のアドバイザーを務める土屋さんに教えていただきました。

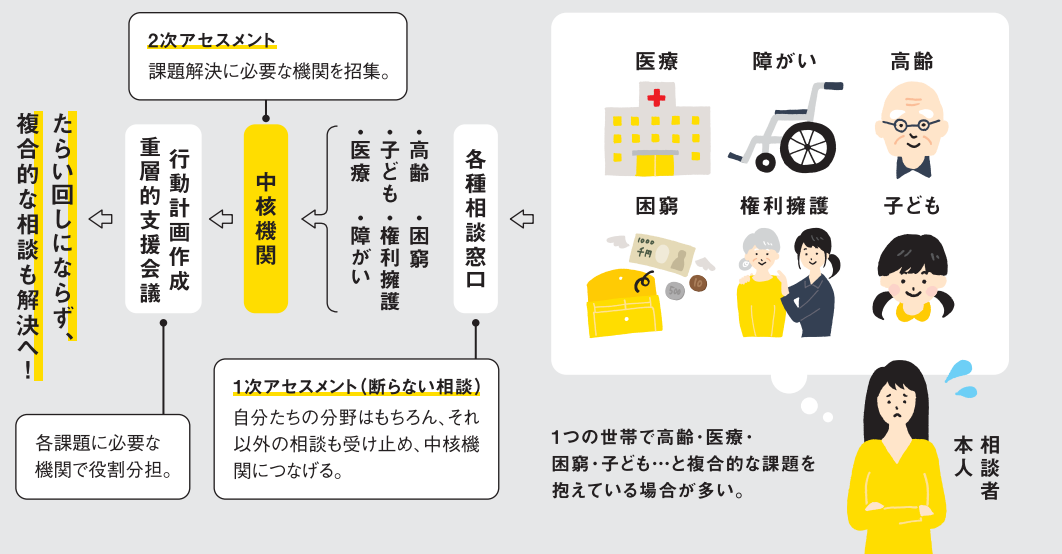
**静岡県内の相談支援体制の現状は?**  
まず、総合相談をやっているところが少ないですが、相談事例は複合的な場合が多いです。例えば、高齢の親が要介護になり、息子が介護のために離職して、収入がなくなり生活困窮になってしまったり、同時に、不慣れなために適切な介護をしてもらえなかったり、介護疲れでうつや精神障害になってしまったり、場合もあります。このような世帯

を支援するためには、高齢者の介護の問題、生活困窮の問題、障がいの問題、ネグレクトや虐待の問題を解決していかねばなりません。しかし総合的な相談支援の体制がないと、相談窓口に行ってもここではこの問題は対応できませんと言われてしまいます。その結果、いろいろな部署をたらい回しにされ、自暴自棄になってしまったり、事例もありません。そもそもパワレス状態なので、いくつもの相談窓

口に行くことすら困難です。そして、状況がどんどん悪化、複雑化して、今度は相談を受ける側も疲弊するという悪循環に陥ります。だから、複合的な問題をワンストップで受け止める体制、断らない相談支援が必要なのです。  
**キーになるのは中核機関におけるアセスメント。**  
断らない相談支援を行うためには、多機関が連携することが不可欠です。その連携を取るために重

要なのが中核機関であり、そこで行うアセスメントです。まず、総合的な立場で、相談事例にはどんな課題があり、どんな支援をしていくのかという方向性を整理し、支援計画を立てます。そして、支

包括的相談支援事業の流れ



1つの世帯で高齢・医療・困窮・子ども…と複合的な課題を抱えている場合が多い。

本人 相談者

キーワードは「断らない」

「地域共生社会」の実現のための「包括的相談支援体制」づくりとは?



なぜ、「地域共生社会」の実現を目指すの? そのために「包括的相談支援体制」が必要なのはなぜ?

そもそも…

地域には、いろいろな人が住んでいて、種別ごとに分けることはできない。1つの世帯の中にも高齢者、子ども、障がい者、生活困窮者が同居しているケースがある。だけど、行政等の部署は縦割り、



➡ 相談者がたらい回しにされてしまう。相談を受けた担当者が1人で抱え込んで疲弊する。

市町村によって地域ニーズや課題が異なる。だけど、法律や制度は全国一律。

➡ 既存の法律や制度では救えない問題や相談者が生まれてしまう。

人口規模が小さい自治体や高齢化率の高い自治体は、支援の必要性が高いが、担い手や受け皿は不足状態。高齢、子ども、障がい等、種別ごとのサービスを用意できない。

➡ 問題解決まで時間がかかる、もしくは解決まで至らない。

少子高齢化が進み、既存の制度の担い手が減少。高齢者のみや高齢者単身の世帯が増加し、ご近所との付き合いは減少。

➡ 支援する側とされる側という関係では地域が回らない。

これらを打開するために…

- 制度や分野ごとの「縦割り」を超えた支援
- すべての人に役割と出番があり、活躍できる社会
- 「支え手」、「受け手」という一方の支援ではなく、誰もがどちらにもなり得る「双方型」の支援体制

➡ すなわち、「地域共生社会」の実現が必要!!

今回の社会福祉法の改正では、「地域共生社会」の実現に向けた地域づくり・包括的な支援体制の整備が盛り込まれました。そして現在、静岡県社会福祉協議会が県からの委託を受け取り組んでいるのが、市町における「包括的相談支援体制」構築のサポートです。



どういった体制なの?

説明します!

小山町職員にインタビュー



住民福祉課  
職員 辻 さん

地域包括ケア推進専門監  
谷内 一夫 さん

小山町「相談支援包括化ネットワーク会議」の様子。



援に必要な機関を集め、どの機関が何をやるのか具体的な役割分担を行います。その後も支援の進捗を確認し、解決された課題と未解決の課題を整理して再アセスメントを行い、再度プランを作成。それを全ての課題が解決するまで繰り返ししていきます。相談を聞くだけで終わってしまうのではなく、本来の相談支援のゴールである「解決」まで導いていくのです。

またここでのポイントは、中核機関の担当者は全てを自分でやる必要はないということ。アセスメントとは、何が問題で、どうすれば解決できるのかを分析することです。それさえできれば、高齢者の問題はこの部署、精神障害の問題はこの部署と、直接支援ができる部署に振ってあげれば良いわけです。専門的な知識はなくても、広く福祉のことを学んで幅広い視野を持つ

ている社会福祉士などが、この役割を担うと良いと思います。

**小山町への支援と現状。**

中核機関が行うアセスメントや、事例検討のやり方をサポートしています。日本でこれまで行われてきたアセスメントの手法には、統一された形がありません。そこで、誰もが使い

こなせる1つの型を作った方が良くと考え、私自身がいりいろな研修を受けて良いところを集めた「全方位型アセスメント」を作りました。90分を標準とした事例検討方法があり、小山町でもそれを使って取り組んでいます。実際に各部署から提出してもらった「今、こういう相談があり、こんなことで困っている」という事例に

対し、出席者が支援に必要なことを聞き出します。例えば高齢者に関する相談に対して、薬剤師ならどんな薬を服用しているのか、地域包括支援担当なら地域に支援者がいるのか、孤立していないかといった様々な内容をヒアリングしてホワイトボードに書き出していきます。ボードが埋まる頃には、相談者が困っていることが詳細に見えてくるので、問題点をしっかりと把握しながら、みんなで解決するための目標を決定。具体的に何をどこがやるのか、役割分担をして、支援計画を立てます。そして2週間から1ヶ月後、



小山町社会福祉協議会相談窓口の様子。

3ヶ月後にもう一度みんなが集まってもらい、状況を報告し合います。解決した問題は消去し、解決されていない問題は、うまくいかなかった点を改めて話し合い、うまくいくように再度、課題を立てます。これが再アセスメント、再プランです。初回のアドバイスでは、包括的相談支援とはどういうことかを説明し、事例検討のやり方を私がやって見せたのですが、参加者からは「何をやるべきかがやると理解できませんでした」と言われたところでした。ですから、取り組みとしてはまだまだ



からないことも多く手探り状態でしたので、サポート事業、アドバイザー派遣に手を挙げました。アドバイスを受けて気づきながらも大きく、目から鱗がたくさん落ちた気がします。特にアセスメントの重要性を強く感じています。しかし、わかっただけでは意味がなく、今後の実践が大切です。実際の相談事を持ち寄って事例検討をしましたが、まだまだアセスメントができていません。アセスメントをテクニックとして使いこなせるように、各機関各人が学び、考え、習得していきたくと考えています。正しくアセスメントができるようになれば、相談者の表面的な問題だけでなく裏側に隠れている問題

**包括的支援体制構築の意義。**

包括的支援体制が構築されることで一番救われるのは困っている人たちです。既存の制度だけでは対応できない人を救うことができるのです。それはつまり、福祉の一番の責任を果たすこと。それに、問題が複雑・深刻になる前に解決できれば、支援者自身も楽になります。市民のため、ひいては自分たちのためになるのです。そういう制度を国が社会福祉法の中で作ったので、市町村はそれを実現していくために取り組まなければいけないと思います。そうして住みやすく・暮らしやすい地域になれば移り住む人が増える可能性もあるのですから、良いことづくめではないでしょうか。ぜひ、多くの市町村にこの事業に取り組んでほしいです。



小山町では、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業に取り組みため、独自に「相談支援包括化ネットワーク会議」を立ち上げました。昨年5月から毎月会議を実施し、県のアドバイザー派遣事業も活用しながら、包括的支援体制に不可欠なアセスメント等の理解、実践に取り組んでいます。これまでの取り組みと今後の課題について、地域包括ケア推進専門監の谷内さんと、住民福祉課の職員さんに聞きました。

※(所属は2月時点)



にも気づけるようになるはず。また多層的・複合的になっている問題を解きほぐすことができ、1つの機関、1人の担当者だけが抱え込まずに済むようにもなると思います。それと同時に1つの機関内で常に関わり合いで問題に向き合うと支援が単調になってしまいう可能性もあります。多方面から意見をもらうことで、より良い支援の方法を見つけやすくなる、解決までがスムーズになり、より多くの困っている人を救うことができるようになる。と信じています。ただ、理想の支援体制を作り上げていくには時間がかかることも覚悟しています。だからこそ、1日も早く取り組み掛かることが大事、そう思っています。



## 介護付有料老人ホーム サンリッチ三島

ゆったりとした居室、栄養管理の行き届いた料理を提供するほか、隣接する医療機関と協力しながら介護面もサポート。展望コーナーやトレーニングコーナー、温泉もあり、安心して健康的な生活が送れます。

株式会社サンリッチ三島  
三島市川原ヶ谷264-2  
<https://www.sunrich-mishima.jp>

Point #4



広々とした  
レストランは、  
感染症対策も  
バッチリ!



## 特別養護老人ホーム ふるさとの丘

在宅で介護を受けることが困難な高齢者の生活の場として、個々のライフスタイルを大切に、個別のプランに沿った援助を提供。ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援等も行っています。

三島市徳倉208-1  
<http://www.furusatonooka.or.jp>

キーワードは“ストレスフリー”な環境

# Withコロナ時代と、 これからの福祉施設経営とは。

目下の感染症対策と、少子高齢による人手不足が重要課題である福祉・介護業界。

最先端の機器などを導入することで職員の負担を軽減し、  
質の高い介護サービスの提供維持に努める2施設取材しました。

Point #1



利用者にも  
職員にもやさしい  
「オープン型  
シャワーバス」

#1.シャワーバス。利用者のストレス減、職員の負担減につながっているそうです。  
#2.体位交換をサポートするベッドも業務負担改善の効果が。#3.屋上のハーブガーデンでフレッシュ。入所者のデイトタイムにも利用されています。

Point #2



メンタルケア  
にもなる  
屋上ハーブ  
ガーデン。

Point #3



Point #5



#4.レストランは4人席を2人で利用する形に。アクリル板も設置され、しっかり感染症対策がなされています。#5.感染者が出た時のための感染症等の専用居室。エアカーテンで空気感染対策も。#6.7.IT機器を駆使して、効率良く、質の高いサービスを実現。

Point #6



iPadで24時間  
バイタル  
チェック。

Point #7



排泄を  
リアルタイムで  
通知する  
センサー。

新型コロナウイルス感染症の対策はいかがでしょうか？  
先に挙げた機器を使うことや、ドア、手洗い場、ゴミ箱の開閉などを自動化することで接触を減らし、感染防止に努めています。サンリッチ三島には、感染者が出た場合に対処する専用の居

めの投資は不可欠です。「できない」と決めつけるのではなく、「やる」と決めてどうしたら実現できるのかを考えていくべきだと思います。その際、現場が喜ぶ導入の仕方を考えることが大切です。いきなり全てを変えることはできませんので、我々も少しずつ計画的に取り組んでいるところです。IT機器は、年配の職員の中には苦手な人もいます。しかし、若手の得意な人が教えたりサポートしたりすれば良いのです。介護の記録を全てPCでつづけるのは、手書きよりも断然楽ですから。こういった業務負担の軽減が功を奏しているのか、ありがたいことに現在2施設とも離職率がかなり低い状態です。



職員に配られたお弁当の一例。

室も設けています。また、コロナ禍が長期化して疲弊してきた頃には、職員とその家族に近隣飲食店のお弁当を配布しました。今日は食事を作らなくて良い、と息抜きになったり、いつもと違う楽しさを味わってもらったのです。同時に、飲食店の応援にもなればと考えました。  
一生懸命働くためには遊び心も大切。そうやって充足感が得られれば、より良いサービスを提供できるはずです。何より、利用者、職員、近隣の人たちなど、みんなが満足感を得られなければ、本当の幸せはありません。それを実現するための環境づくりを大切にしています。

Interview



社会福祉法人福思会理事長  
株式会社サンリッチ三島 代表取締役  
福家（ふり）英也 さん

最先端の機器を積極的に導入されているそうですね？  
例えば、ふるさとの丘では浴室に「オープン型シャワーバス」を導入しています。台の上に利用者の方に寝ていただき、バスにセットすると自動で霧状のシャワーが出てきます。浴槽にお湯を溜める時間、湯船に浸かる時間の短縮、職員の体力的な負担の軽減につながっています。また、シャワーで全て洗い流されてしまうので清潔。たとえ入浴中に排泄してしまっても気にする必要がなく、利用者のプライバシーを守り、精神的なストレス軽減にもなります。利用者の状況によって体位交換をサポートするベッドも使用しています。自動でマットレスが傾き体位を変えられるので、やはり負担が軽くなる、職員に喜ばれています。

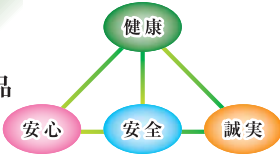
サンリッチ三島では、どんなものを導入していますか？  
利用者のおむつに付けておく、排泄を受信端末に通知するセンサー、ベッド上の呼吸数や心拍数を自動計測し、職員のiPadで全て確認できるセンサーを導入しています。1人ずつ部屋まで行って確認する必要がなくなり時間短縮、作業の効率化を実現しているのです。これが広まると、福祉・介護現場の業務改善はかなり進むと思いますよ。  
ただ、最先端機器の導入には、費用やスキルなどハードルがありませんか？  
少子高齢社会で、これから人手不足になっていくことは明白。だからこそ、最先端の機器の力も借りながら職員の負担やストレスを軽減し、提供するサービスの質は保つようにつとめること、そのた

# Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

## 事業内容

医薬品、防疫薬、医薬部外品、化粧品、健康食品、健康関連用品各種記念品の取り扱い。



家庭常備薬等の斡旋をご利用ください。

お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。

## 大日商事株式会社

TEL(06)6952-7015  
FAX(06)6952-7137  
大阪市旭区大宮4丁目18番18号



## 家庭用常備薬の斡旋について

静岡県社会福祉協議会では、社会福祉従事者の方の福利厚生の一環として、家庭用常備薬の斡旋販売をしています。令和3年度は2回の斡旋を予定しています。第1回目の申込みは以下のとおり行います。つきましては、職員の皆様へ御周知いただけますようお願い申し上げます。

### 大日商事株式会社

【申込用紙送付予定日】6月初旬  
【申込締切予定日】7月2日(金) 予定  
【商品発送予定日】8月上旬まで  
(大日商事株式会社より発送)

※1個当たりの商品価格が市販のものに比べてかなり割安です。各事業所・御家庭用としてお使いいただけます。

ぜひ御利用ください!

## 施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

### カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

### カーペット・タイル出張丸洗い



### ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナフ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料(1名あたり)

| 保険金の種類 | プラン              | 基本プラン        | 天災・地震補償プラン |
|--------|------------------|--------------|------------|
| ケガの補償  | 死亡保険金            | 1,040万円      |            |
|        | 後遺障害保険金          | 1,040万円(限度額) |            |
|        | 入院保険金日額          | 6,500円       |            |
|        | 手術保険金            | 65,000円      |            |
|        | 外来の手術            | 32,500円      |            |
| 賠償責任   | 通院保険金日額          | 4,000円       |            |
|        | 地震・噴火・津波による死傷    | X            | O          |
|        | 賠償責任保険金(対人・対物共通) | 5億円(限度額)     |            |
| 年間保険料  |                  | 350円         | 500円       |

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



令和3年度

全国200万人加入!!

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットはコチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)20-12302 2020.12.28 作成

## 福祉の“中の人”

様々な福祉の仕事について、具体的な内容や魅力を、実際に働いている人に直撃!リアルな声をお届けします。



case.10  
温泉旅館 富士見館 女将  
近藤 初世 さん  
kondou hatsuyo

「昔から様々な人が来る場所。地域への恩返しも込めて」

県や12町の社会福祉協議会、NPO法人によるコンソーシアムで取り組む生活困窮者自立支援事業。畑毛温泉にある宿、富士見館は、そのうちの二時生活支援事業に協力し、生活場所や食事の提供をしています。

Q「二時生活支援事業」に協力しようと決めたきっかけは?

昨年度、この事業が始まる時に函南町社会福祉協議会の方がいらして、「二時生活場所として利用できる場所が町内になく、協力してもらえないか」とお話をいただきました。もともと父親の代では、畑毛温泉が良いと聞いて当館に毎日通うようになった脳梗塞麻痺の方がいたんです。その方には、掃除などできることを手伝ってもらい入浴や昼食は無料を提供していました。昔から、いろいろな人を受け入れる習慣があったんです。

Q「具体的に利用者にはどのように関わっていますか?」

基本的に、住むところと食事の提供です。もちろん、入浴もできます。それ以外は、利用者側にも様々な事情があると思うので、こちらからプライベートに踏み込むような余分な話はしません。ただ、顔を合わせれば必ず挨拶をしたり、「今日は暖かくなるといいですねよ」、外出の際に「気を付けて行ってらっしゃい」といった声を掛けるようにしています。従業員も長く勤めている人ばかりで、利用者の方を常に気遣って見守ってくれるのでありがたいですね。そうやって接していると、向こうから話をしてくれることがあるので、そういう時は耳を傾けるようにしています。

Q「どのような思いで、この事業に取り組んでいますか?」

明治に創業した当館が

今でもやっているのは、地域のおかげ。迷惑をかけたこともあるので、営利追求だけでなく恩返しをしたいという気持ちがあります。最初はどういう人が来るかわからないので、不安な気持ちもありました。でも、幼い頃から父がいろいろな人を受け入れるのを近くで見えてきましたし、根底にあるものはそんなに怖いはずがないと信じています。それに、日帰り温泉のお客さんも含め、ここに来る皆さん、来た時と帰る時では表情が変わるんですよ。最初は固い感じでも、温泉に入るとほぐれた顔つきになります。この制度を利用する方にとって、少しでもリラックスしてもらえるところでありたいと思っていますし、そうして元気に次々ステップに進んでいってほしいです。

# 福祉の現場からこんにちは!

福祉の現場で働く人からの知恵や工夫、日常的に利用できる情報と、素敵な福産品に出合える場所を紹介します。福祉をより身近に感じるとともに、読者のあなたの生活にもぜひ活用してみてください。

## 介護施設職員が伝授! 介護のコツ

社会福祉法人 大東福祉会  
くにやす苑 施設長  
土井孝久さん



介護の現場でも、まずは  
コミュニケーションが大切です。

スマホのアプリで、  
コミュニケーションを  
より円滑に。



おしゃべりはしっかりできるけれど、耳が遠くこちらの言いたいことが伝わりづらいお年寄りとのコミュニケーションには、スマホの「筆談アプリ」がオススメ。画面を指でなぞるだけで簡単に文字が書け、消すのも簡単なので、ストレスがありません。

介護以外のシーンでも使える、返し言葉のコツ。

人と話すのが苦手、相づちの言葉がなかなか出てこない…。そんな時は、魔法の相づち言葉「さしすせそ」を使ってみましょう。介護の現場ではもちろん、皆さんの職場や日常生活でも、きっと役に立つはずですよ!

- さ…「さすが!」「最高!」
- し…「しっかりしてる!」「幸せですね」
- す…「素晴らしい!」「すごい!」
- せ…「センス良いですね」「世界一!」
- そ…「そうなんですかあ」「そのとおり!」

## 福産品を探して

こちらからも  
購入できます



### アトリエ・ポルト

静岡市葵区薬師4-5

☎ 054-655-3090 ☎ 8:30~17:30

休 土・日曜日 ※祝日は営業

📱 Facebook 「アトリエポルト」で検索



ふわふわモチモチの「米粉シフォン」

パン、焼き菓子などを生産、販売。小さな子供やアレルギーがある人でも食べられる「ロンロン」シリーズの「米粉シフォン」は、福産品コンテストで受賞した逸品です。



### 発煙発火のおそれがあります

東芝エアコンをご愛用のお客様へ  
再度のお詫びと重要なお願い **引き続き このエアコンを捜しています**

エアコン室内ファンを回転させるモーターのリード線接続部から、**発煙発火**する可能性があります。無償にてファンモーター交換を行っております。

【対象製品】 東芝エアコン大清快**LDR**シリーズ (1998年9月~2000年6月製造) 東芝エアコン大清快**YDR**シリーズ (1999年9月~2001年3月製造)




LDR、YDRシリーズ以外

- ハウジングエアコン
- 石油エアコン
- ガスエアコン
- 業務用エアコン

(1999年11月~2002年1月製造)

※このお知らせは、2004年8月20日に新聞や弊社ホームページ等によりお知らせした内容と同じものです。

**ご連絡窓口** 東芝キャリア株式会社 安全サービス推進室  
〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

**フリーダイヤル (通話料無料)** 専用 **TEL:0120-444-899**  
専用 **FAX:0120-445-175**

**受付時間** 平日 9:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

本件につきましては、弊社ホームページでもお知らせしています。 <https://www.toshiba-carrier.co.jp/>



ご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございません。  
ご連絡いただくお客様の個人情報は本件の点検修理のためにのみ利用し管理します。  
なお、これらの業務に携わる協力会社にはお客様の個人情報を開示することがありますが弊社と同等の管理を行なわれます。

